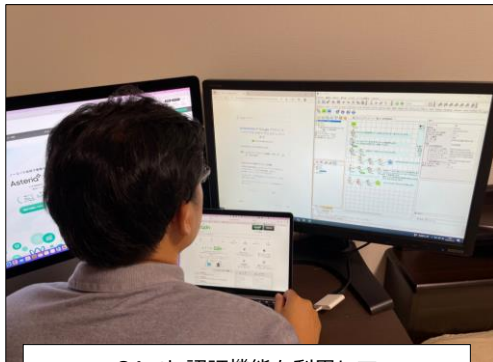
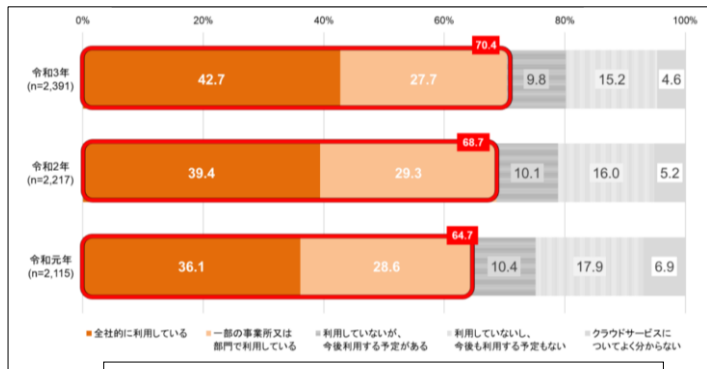


国内シェア No.1 データ連携ソフト **ASTERIA Warp 新バージョン「イコスティ」** **AWS、Azure、Google との連携を強化し、企業のクラウド利用拡大に対応**

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、企業データ連携（EAI/ESB）製品の国内ソフトウェア市場で15年間連続シェア No.1^{*1}を継続している「ASTERIA Warp（アステリア ワープ）」シリーズの新バージョン「イコスティ^{*2}」の提供を、2022年6月24日より開始することを発表します。



OAuth 認証機能を利用して
Gmail との自動連携を行う様子



企業のクラウドサービス利用状況
出典：総務省令和3年通信利用動向調査より引用

■新バージョン「イコスティ」の概要

総務省の令和3年（2021年）通信利用動向調査^{*2}によると、2021年に企業のクラウドサービスの利用状況は70%を突破、ニューノーマルな社会への移行により場所やデバイスを問わずに使える利便性からニーズが拡大しています。また、ASTERIA Warp のユーザー企業ではAWS（Amazon Web Services）、Azure（Microsoft Azure）、GCP（Google Cloud Platform）などのメガクラウド^{*3}の導入が活発です。

そこで、新バージョン「イコスティ」では、クラウドサービスとの連携機能を強化。ファイル共有サービスとの連携によるデータ保存機能の拡充や、クラウド上の個人権限を一時的に付与可能とする Assume Role 機能の拡充などにより、さらに利便性の高いデータ連携を実現します。

また、一部のクラウドサービスでは、ID・パスワードを使用した従来の基本認証から2段階認証などの先進認証への置き換えが進み、より高度な情報セキュリティリスクへの対応と利便性を兼ね備える動きが進んでいます。新バージョンでは、セキュリティ開発の標準として推奨されている新たな認証方式「OAuth2.0」を標準機能として対応することで、さらにスムーズな連携を実現します。

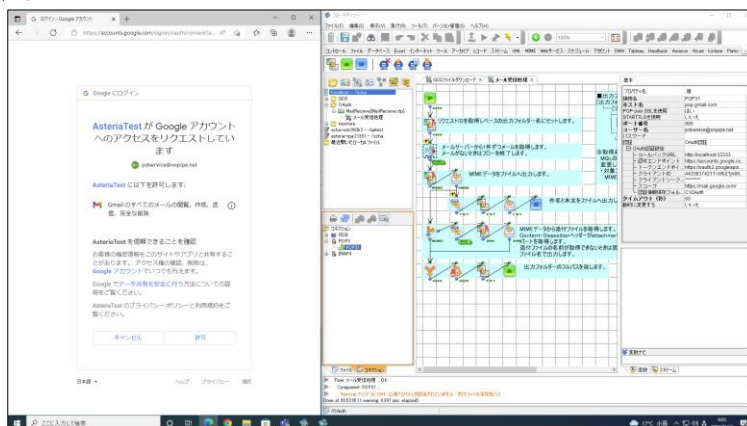
■新バージョン「イコスティ」の主な追加機能

先進認証に対応	<ul style="list-style-type: none"> 先進認証（OAuth2.0）に対応フローサービス標準機能として OAuth 認証対応。Exchange Online や Gmail とのメール送受信・メール監視が可能
コンポーネント開発機能の追加／拡張	<ul style="list-style-type: none"> GCS コンポーネント機能拡張：均一なバケットレベルアクセスに対応 AWS コンポーネント機能拡張：Assume Role 機能対応 Azure ファイル共有（Azure Files）コンポーネント追加：ファイルのダウンロード／アップロード機能追加

（今回のバージョンアップに伴う製品ラインアップや価格の変更はありません）

■今後の ASTERIA Warp ビジネスの展開

アステリアの ASTERIA Warp は順調に拡大を継続し、現在の導入社数は 9,600 社を突破。企業データ連携市場 (EAI/ESB) では 15 年連続シェア No.1※2 を継続。2022 年 3 月期決算では、幅広い業界で DX に向けた取り組みの活発化に加え、改正電子帳簿保存法の施行に伴う新たな連携ニーズの拡大が継続し、ASTERIA Warp の売り上げが過去最高を記録しています。



今後、ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに、ノーコードの特徴を生かし、IT 人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等 DX 推進に貢献してまいります。

- ※1：出典：テクノ・システム・リサーチ社「2020 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」EAI/ESB は、それぞれ Enterprise Application Integration、Enterprise Service Bus の略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。
- ※2：イコステイ：ギリシャ語で「20 番目」の意味。
- ※2：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/220527_1.pdf
- ※3：クラウドサービス提供事業者の中でも市場シェアが大きく国際的に事業者の総称

■「ASTERIA Warp」について (Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>)

EAI/ESB 製品の国内市場において 15 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンコーディングで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。ASTERIA Warp Core は、ASTERIA Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

■『アステリア株式会社』について (Web サイト <https://www.asteria.com/>)

アステリア株式会社 (2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更) は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,594 社 (2021 年 12 月末現在) の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,641 件 (2021 年 12 月末現在) の企業や公共機関で採用されています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先 (報道機関窓口)】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ
TEL:03-5718-1297 / 携帯:080-7709-5212 (齋藤) / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出 武也
TEL:03-5718-1250 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。